

授業科目	基礎看護実習 1	1 学年・後期・1 単位 (45 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	堀口雅美 (保健医療学研究棟 E309 号) e-mail : hori@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	宇野智子、中村円、飯澤良祐		
概要	本科目では療養者の生活の場である病院環境の見学、看護師の看護活動の見学および可能な看護活動への参加、療養環境にいる対象者との会話をする。そして、病院環境、看護の役割、療養環境にいる対象者の生活行動や健康に関する心情を考察し、看護の基本概念である「看護」「人間」「健康」「環境・社会」について体験を通して理解を深める。また、学生看護師としての倫理的な学習姿勢について学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院見学を通して、病院の構造と機能を知ることができる。 2. 病棟見学を通して、病棟の構造と機能を知ることができる。 3. 看護師の看護活動の見学と可能な看護活動への参加を体験し、病棟における看護の役割機能を知ることができる。 4. 療養環境にいる対象者と会話し、生活行動のあり方や健康に関する心情を知ることができる。 5. 体験をした内容をもとに、「看護」「人間」「健康」「環境・社会」について考察することができる。 6. 主体的に学習し、学生看護師として責任ある行動をとることができる。 		
評価	実習評価表(ルーブリック)に基づいて、学内及び病院・病棟における実習状況(42%)と提出物(36%)・発表会の内容(22%) (計 100%) に関して、目標到達度を評価する。実習評価表は開講時に提示する。		
履修上の留意点	・原則として遅刻、欠席、早退は認められない。正当事由によりやむを得ない場合は必ず事前に連絡する。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全体オリエンテーション、看護部長の講義を受ける。 2. 「連携」に関連した講義を受ける。 3. 病院見学はグループに分かれて見学をする。 4. 病棟見学はグループに分かれて、配置された病棟でのオリエンテーションを受ける。 5. 看護活動の見学と可能な看護活動への参加は看護師とともに行動し、見学と可能な看護活動に参加する。 6. 療養環境にいる対象者との会話を通して、療養生活のあり方や健康に関する心情を知る。 7. 体験した内容を学内で発表し、学生間で共有する。 8. 実習終了後、学びを整理し、今後の課題を明らかにする。
実習期間	2023 年 1 月下旬(予定)
実習場所	札幌医科大学附属病院 16 病棟(予定)
実習時間	基本的に 8:30～17:00 である。ただし実習病棟や学習内容・状況により変更する場合がある。
実習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護部長の講義を聴く。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院の役割機能および組織形態を知る。 2) 専門職としての看護者の責任を知る。 2. 「連携」に関連した部署の講義を聴く。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師と医師との連携について知る。 2) 院内と院外との連携・調整活動の実際を知る。 3) リハビリテーションの役割と課題を知る。 3. 病院見学(制御部門、放射線部門、リハビリ部門、外来部門)をする。 4. 病棟見学をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 配置された病棟に関する特徴、構造および機能を知る。 5. 看護活動の見学と可能な看護活動へ参加する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師と共に行動し、1 日の看護活動の状況を知る。 2) 看護師と共に行動し、可能な看護活動を看護師の指導のもとに体験する。

- | | |
|--|--|
| | <ol style="list-style-type: none">6. 療養環境にいる対象者と健康に関する会話をする。7. 各自が体験した内容とそれについて考えたことを学内の発表会で発表し、意見交換を行う。8. 体験をした内容を整理し、今後の課題を明らかにする。 |
|--|--|